

様式2

八百津町告示第1号の2

パブリックコメントの回答について

住民の方から寄せられた意見の概要とそれに対する町の考え方及び最終案は下記のとおりです。

平成31年3月29日

八百津町長 金子 政則

- (1) 募集案件 「(仮)八百津町健康プラン」にかかる意見の募集について
- (2) 募集期間 平成31年1月21日～平成31年2月20日
- (3) 意見提出数 1件

意見の概要	意見に対する考え方
①良いデータが開示されておりますが、これを住民へより深く理解してもらうため自治会を含めて住民への説明などきめ細かな啓蒙でこのデータのさらなる活用を考えていただきたい。	分析したデータからわかることを、広報やケーブルテレビなど様々な媒体を利用して、町民の皆様へわかりやすく伝えていくとともに、地域で行う健康教室や、お出かけ健康講座などの機会も利用して、データの活用を図ります。行政と町民が問題意識を共有することが大切と考えています。
②例として男性の心疾患が当町は比較的高い傾向を指摘されております。前回のCA(PDCA)の記載でも数値目標に反して大幅増となっております。CAの項では前回平成24年から17%アップしております。ところが36年目標値は100と記入されており、%なのか100という数字なのか？不明です。(その他は%記入されております。)仮に%とすれば、全国・県平均より高いこの数値を現状維持目標にしている点についてご見解をお願いします。前回CAの■評価の目標値設定に疑問の項目が見受けられますので其々について見直しをお願いします。	ご指摘いただいた心疾患が多いという統計データは、「標準化死亡比(SMR)」といわれる健康指標で、全国標準を100という指数で表しますので単位はありません。(数値が低いほど健康指標は良好といえます。)しかし、現状の指数が全国より低いにも関わらず目標を100とするのは誤りで、ご指摘の通りです。36年の目標値は100以上の項目については100を、100より低い項目については現状値の10%減少を目標値といたします。そのほかの目標値についても見直します。 標準化死亡比の高さについてはかねてより指摘がされており、心疾患・脳血管疾患などの多さの背景には高血圧と糖尿病があると考えています。これらの病気に対して重点的に取り組んでいきます。

- (4) 最終案 別添